

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	変速ランダムサンダー VRS-125		※お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月 日	1 年
※お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話	()		
販売店※	住所 店名	〒 ()		

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の落下、引越、輸送等による故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

RANDOM SANDER

変速ランダムサンダー

VRS-125 取扱説明書



このたびは変速ランダムサンダーをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは必ず保存してください。

SHINKO 株式会社 新興製作所

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町11番地 TEL03-3252-8861 FAX03-3254-2600

⚠ 警告

3. 電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
 - ・表示を超える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。2重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4. 取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業して下さい。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切って下さい。
 - ・スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認下さい。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
 - ・ネジがゆるんでいたたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具（砥石、ドリル等）を交換したときは3分以上試運転をして下さい。その日の作業のときは開始前に1分以上回転させて下さい。
 - ・試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないで下さい。
 - ・規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないで下さい。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いて下さい。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いて下さい。
 - ・スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出して下さい。
 - ・異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないで下さい。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意して下さい。
 - ・コードが損傷しますと危険ですので直ちに交換をしてご使用下さい。
- 工具（スパナ、ネジ回し等）は、運転前に必ず本機から取り除いて下さい。
 - ・工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないで下さい。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工して下さい。
 - ・加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないで下さい。
 - ・不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないで下さい。
 - ・能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入れと保管について

- 常に本機の手入に心がけ、長期間安全にご使用下さい。
 - ・使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入れをして良い切れ味でご使用下さい。
 - ・切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くかかり作業能力が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をして下さい。
 - ・修理、点検は販売店、又は当社にお申し付け下さい。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入れをしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管して下さい。

変速ランダムサンダー使用上のご注意

- 本機の定格電圧は100Vです。間違えて200Vに差し込んで使用しますと、回転が異常に高速となり、機体が破損するおそれがあり危険です。
 - ご使用前に本機の点検をおこない、ネジのゆるみがありましたら締めつけてください。万一、ヒビ割れ、破損等がありましたら修理に出してください。
 - 研磨具（サンディングペーパー、スポンジパット、布パフ、毛パフ）を取り付けるときはスイッチを切り、電源からプラグを抜いてください。
 - ラバーパットに研磨具（サンディングペーパー、スポンジパット、布パフ、毛パフ）の取り付けはマジックテープ式になっています。取り付けるときは、センターを合せて全面を強く押しつけてください。
- Ⓔラバーパットの取り付け面には、必ず研磨具を取り付けてご使用ください。ラバーパットのままで研磨しますと、研磨具の取り付けができなくなります。
- ご使用のときはスイッチを入れる前に研磨具を加工面にあてた状態でスイッチを入れてください。
- Ⓔ空転させますと研磨具が飛ぶことがありますので、必ず加工面に研磨具をあてた状態で回転させてください。
- 長期間使用しますとラバーパット、研磨具のマジックテープが弱くなりますので、新しいものと交換してください。
 - 本機に研磨具を取り付けて研磨する材料に押しあてますと、低速回転となり、振動にかわります。（スポンジによるワックスがけも振動にておこなえます。本機に強く押しあてなければ回転します。）
 - 本機をご使用のときは、安全のため長袖、長ズボン、手袋、保護メガネ、マスク等を着用してご使用ください。
 - 回転時には回転部を顔や身体に近づけないように注意し、周囲にも人を近づけないでください。
 - 研磨作業をするとき、水や研削液を使用しないでください。感電の恐れがあり、危険です。
 - 本機は絶対に水洗いをしないでください。
 - ご使用の際は取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご使用ください。

延長コードのご使用について

- 延長コードは電流が流れるのに十分な太さのもので、できるだけ短いコードをご使用ください。
- 下記の表はコードの太さ（導体公称断面積）と最大の長さです。（参考）

コードの太さ (mm ²)	最大の長さ (m)
1.25	10
2	25
3.5	30

部品の名称



図1

VRS-125の仕様明細

形 式	VRS-125
使 用 電 源	単相交流 100V
定 格 周 波 数	50/60Hz
全 負 荷 電 流	4.2A
消 費 電 力	400W
無 負 荷 回 転 数	4,000~12,000 r/min
ラバーパットの外径	φ123mm
研 磨 具 の 外 径	φ125mm(約)
重 量	2.4kg

※本機は改良のため、予告なしに仕様変更することがあります。

付属品の明細

付属品の名称	用途	入数
サンディングペーパー	(# 60) 研磨、仕上げ	1
〃	(# 100) 研磨、仕上げ	1
〃	(# 240) 研磨、仕上げ	1
スポンジパット	ワックスがけ	1
布バフ	ワックスのふきとり	1
毛バフ	つや出し	1
ダストバッグ	吸じん用	1
可動ハンドル	補助ハンドル(セットしてあります)	1

※消耗品の付属品(別売品)については、販売店にご相談ください。

※本文ではサンディングペーパー、スポンジパット、布バフ、毛バフを研磨具と表示しております。

用途

- 木工製品、金属製品、プラスチック製品などの研磨作業
- 家具、床、自動車などのワックスがけ、ツヤ出し
- 塗装はがし
- 金属製品の錆おとし

特長

- 強力パワーでコンパクトに設計してありますので、色々な作業ができます。
- 変速機能付ですので、作業の内容に応じて調整ができ、広範囲の作業が可能です。
- 付属品として、サンディングペーパー、スポンジパット、布バフ、毛バフがついてありますので、研磨、ワックスがけ、ワックスのふきとり、ツヤ出し、錆おとし等の作業ができます。

組立方法と調整方法

Ⓔ 組立の前にスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いて作業してください。

■可動ハンドルの調整方法

- 可動ハンドルは本機にセットしてありますので固定ナットをゆるめて角度を調整してください。調整がすみましたら強く締めつけてください。
- Ⓕ 可動ハンドルが正確に固定されていない状態で使用しますと、ハンドルがずれてけがの原因になります。



図2

■ラバーパットの取付、取りはずし方法(図2参照)

- ラバーパットは4本のネジで回転板に締め付けてあります。
- ラバーパット4本のネジをゆるめると取りはずすことができます。取付は逆の方法でおこなってください。

Ⓖ ラバーパット固定ネジがゆるんでいますと回転時に、研磨する面にキズをつけることがあります。使用前にご確認の上、ゆるんでいましたら強く締めつけてください。



図3

■ダストバッグの本機への取り付け、取りはずし方法

- ダストバッグの差し込み口を本機の差し込み穴に差し込んで、少し回しながら押し込んでください。
- Ⓖ まっすぐに差し込むと入りにくいので、ダストバッグを少し回しながら差し込みますとスムーズに差し込むことができます。

サンディングペーパー、スポンジパット、布バフ、毛バフの取り付け方法

Ⓔ 取付前にスイッチを切り、プラグをコンセントから抜いて作業をしてください。

■サンディングペーパーの取り付け方法(図3参照)

- サンディングペーパーとラバーパットに穴があいています。穴を合わせて取り付けてください。穴が合わないとは吸じん効果が得られません。
- サンディングペーパーの裏面にマジックテープがついてありますので、ラバーパットに押しつけるだけで取り付けられます。

Ⓖ サンディングペーパー、スポンジパット、布バフ、毛バフ等の取り付けは、センター合せをして全面を強く押しつけるように正確にセットしてください。センターがずれたり、接着が不十分なときは、回転時に飛ぶおそれがあり危険です。

- とりはずしは、サンディングペーパーの端をつかんで引きはがしてください。

変速ランダムサンダーのご使用方法

■スピード(回転)の調整方法

- 本機は研磨、仕上げ、ワックスがけ、つや出し等幅広い作業ができるように変速機能がついています。用途に合ったスピードでご使用ください。
- スイッチの下に付いているダイヤルを◀印の方向に回すと回転がおそくなり、▶+印の方向に回すと回転が速くなります。
- スイッチを少し引くと回転がおそく、強く引くと回転が速くなります。

■研磨方法

Ⓔ 研磨作業をするとき、水や研削液は使用しないで下さい。感電のおそれがあり危険です。

- スイッチを入れる前に研磨具を加工面に当てた状態でスイッチを入れて下さい。
- 作業方法はサンディングペーパー、スポンジバット、布バフ、毛バフを加工面に軽くおしつけ、一定のスピードで円をえがくように移動させて下さい。
- 変速ダイヤルは◀方向に回すと低速回転となり▶+方向に回すと高速回転になります。作業をする前に変速スイッチのダイヤルを◀▶+の中間位置にしてテストをしてください。次に-◀又は▶+の方向に回して能率のよい回転でご使用ください。(ダイヤルの位置は9ページをご参照ください。)

Ⓔ 空転させるとサンディングペーパーが飛ぶことがありますので、加工面に当てた状態で回転させてください。

Ⓔ ラバーバットには必ず研磨具を取り付けてご使用ください。ラバーバットの取り付け面で研磨しますとマジックテープの接着ができなくなります。

- 本機は研磨する材料に押しあてないでスイッチを入れますと空転します。本機に研磨具を取り付けて、**研磨する材料に押しあてますと低速回転となり、振動にかかります。**
- スポンジによるワックスがけも振動でおこなえます。ワックスがけをしたら、布バフをかけて毛バフでツヤ出しをしてください。

Ⓔ スポンジバットはワックスをつけてからご使用ください。

Ⓔ ご使用のときは加工面に研磨具を軽くあててご使用ください。強く押しつけますと作業能率が低下します。又、モーターの焼損につながります。

■連続運転の方法

- スイッチの引金を引いた状態でロックボタンを押しますと、スイッチの引金から指を離しても連続回転します。スイッチを切るときはもう一度、引金を引いて指を離すとロックが解除され回転は停止します。

Ⓔ 本機の定格時間は20分です。20分位連続使用して温度が上昇しましたら、少し休ませてからご使用下さい。

研磨具と変速ダイヤルについて

- 作業内容、研磨材料により使用する研磨具、スピード(変速ダイヤルの位置)が異なります。作業をおこなう前にテストをしてから決めるようにしてください。

■作業するときの目安

作業の内容	サンディングペーパーの粒度		変速ダイヤルの目安 ◀▶+ ◀▶+	研 磨 具
	荒削り	仕上げ		
金属の研磨	# 60	#100	中間より▶+	サンディングペーパー
木材の研磨	#100	#240	中間より▶+	〃
塗装はがし	# 60	100又は240	中間より▶+	〃
塗装面の研磨	#100	240	中間	〃
ワックスがけ			中間	スポンジ
ワックスのふきとり			中間	布バフ
ツヤ出し			中間	毛バフ

Ⓔ 上記の粒度、ダイヤルの位置は目安です。作業の内容に応じて調整してください。

- 消耗の付属品については販売店にご相談ください。

保守、点検、修理について

- 本機を最高の状態で、安全にご使用いただくために、常に保守、点検をしてください。
 - 保守、点検、修理をする前に必ずスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。
 - 磨耗したサンディングペーパーは作業能率が低下しますので、早目に新しいものととりかえてください。また、マジックテープの接着力が弱くなったときにも、新しいものと交換してください。
 - 汚れたスポンジバット、布バフ、毛バフを使用しますと、きれいに仕上がりません。うすめの中性洗剤で洗って日影で干してから使用してください。
 - ラバーバットは、長期間使用しますと、接着力が弱くなりますので、新しいものと交換してください。
 - 各部の取り付けネジがゆるんでいないか、各 부품のヒビ割れ等がないか、点検をしてから使用してください。万一ネジがゆるんでいたら締めつけ、ヒビ割れ等の破損がありましたら修理に出してください。
 - 作業が終了したら、本機のダスターバックのゴミを捨て、清掃をして、湿気の少ない場所に保管するようにしてください。特に、お子様の手のとどかない場所を選んでください。
- ※本機についてのお問い合わせ、修理等につきましては、販売店、または当社までご連絡ください。